

令和4年12月5日

羽生市議会議長 様

公成会代表 峯寄 貴生

令和会代表 増田 敏雄

行政視察報告書

下記のとおり、公成会・令和会合同視察を実施したので報告する。

記

1: 背景

市内の課題を解決するため、羽生市と他の自治体の政策を比較・検討し、羽生市の抱える課題に新たな視点から取り組む必要がある。

2: 目的

先進的な政策を実行している自治体から学びを得て、市民福祉の増進に寄与する。

3: 視察参加者

公成会: 峯寄 貴生、松本 敏夫

令和会: 増田 敏雄、江原 博之、西山 文由

4: 視察概要

1) 日時: 2022年11月8日(火)～9日(水)

2) 場所: 新潟県村上市、新潟県長岡市

3) 視察内容

■新潟県村上市

「田んぼダムによる防災・減災の取組について」

- ・取り組みの経緯及び背景について
- ・概要、特色について
- ・具体的な取り組みの内容及び状況について
- ・事業に対する補助メニュー・補助額等について
- ・取り組みの効果について
- ・今後の課題・展望等について

■新潟県長岡市

「中心市街地再開発・活性化について」

- ・取り組みの経緯及び背景について
- ・概要、特色について
- ・具体的な取り組みの内容及び状況について
- ・取り組みの効果について
- ・今後の課題・展望等について

5:議員所見

峯崎 貴生（公成会）

・村上市「田んぼダム」について

村上市の田んぼダムは担当の方から効果があったとお話を聞き、羽生市でも行いたい事業だと思いました。岩瀬土地区画整理事業などが推進される中、水田などを活用して、豪雨災害に備える防災についても準備していかなければなりません。ただし、水田の区画整理を行うことが先であり、規格が整わない状況で排水の調整板を準備しても、持続可能性は低いのではないかと感じました。村上市への視察では個々の政策がどこかで繋がっている事を再認識させられました。

・長岡市「中心市街地の活性化」について

長岡市の視察では中心市街地の活性化を学びました。羽生市においても中心市街地の活性化は喫緊の課題です。取り組みとして、市役所機能を分散させ、交通の拡散によるスムーズな流れを高めつつ、街中の賑わいや回遊性を創出させていました。今後の課題として、ハード面は整ったが、ソフト面をどうするか、イノベーションをどのように起こすかが重要だと言明されました。

回遊性を高める事は街全体を活性化させるキーワードだと思います。羽生市の中心市街地の回遊性向上はもちろんのこと、市長が公約として掲げる観光のネットワーク化においても応用できるのではないかと感じました。12月議会の一般質問で取り上げてみたいと思います。

松本 敏夫（令和会）

・村上市

令和4年11月8日（火）新潟県村上市神林地区（旧神林村）田んぼダム事業の取組について
会派（合同）視察を行いました。

田んぼダムとは、田んぼが元々もっている水を貯める機能を利用し、雨が降った時に田んぼ
に一時的に水を貯め、時間をかけ、ゆっくりと排水することで洪水被害を軽減する取組です。

平成14年度に村木市で全国に先駆けて取組が始まったそうです。

私が一番感じたことは、調整装置の構造であります。普通の合板30cmの（一辺が）を真中
に5cmの穴を開けただけのものでした。一反に2枚から3枚で浸水被害を軽減させるという画
期的な方式に驚きました。

・長岡市

令和4年11月9日（水）中心市街地再開発・活性化について視察を行いました。

長岡モデル全国に発信とユニークな取り組みから始まりました。

長岡市は、大変歴史のある街と一目でわかるスケールの大きい市役所を視察いたしました。

まず案内されて一番驚いたのは、市役所内に5,000人収容の会場があるのに驚きました。

市民協働のまちづくりを展開する事が市街地の活性化になると説明を受けました。

中心市街地での再開発事業として、

1. 長岡駅前城内地区→旧イトーヨーカ堂、丸大、その他大手デパート
2. 大手通中央西→集合住宅、店舗、子育て支援施設
3. 大手通中央東→銀行、店舗、集合住宅、市役所機能、まちなかキャンパス、アーカイブ
センターなど、すべてこれらの事業がバランスよく密集していること